

ミニ観察会記録

日時：平成28年1月24日(日)13時～15時 天候：曇後晴 気温3

場所：神奈川県自然環境保全センター 自然観察園

観察テーマ：「冬芽とロゼット葉および鳥の観察」

このところ連日の寒波で遠くに見える大山は白く化粧をし、谷戸の池も凍る気温の中で植物は冬芽が厳しい環境に耐えられるように、いろいろな工夫をしています。この観察会ではハクウンボク、センダン、クロモジ、コクサギ、トチノキ、モクレンなどの工夫と葉痕を観察しました。また地表では冬を過ごしているオニタビラコ、ギシギシ、ハルジオンなどのロゼット状の根生葉を観察しました。



雪の大山



凍れる谷戸

鳥たちはシジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ジョウビタキ、ルリビタキ、シメ、アオジ、アオサギ、シロハラ、カシラダカ達が谷戸をにぎわしていました。



アオサギ



シジュウカラ



冬芽の観察風景



アオキ



コクサギ



オニシバリ

自然環境保全センター主催ミニ観察会の当クラブ担当は、毎月第4日曜日と指定された祝日です。午後1時本館玄関前集合です。私達と午後のひとときを自然の中で過ごしませんか。

NPO法人 かながわフィールドスタッフクラブ

<http://www.npokfsc.com/>